

* 2010年7月改訂 (第6版)
* 2009年6月改訂

日本標準商品分類番号	875200
承認番号	61AM-4770
薬価収載	1987年10月
販売開始	1987年10月

貯法	室温保存 注意：「取扱い上の注意」 の項参照
使用期限	容器又は外箱に表示

商品番号
J-30

漢方製剤
JPS 真武湯エキス顆粒〔調剤用〕

* 劇薬(但し、2.5g包装の分包品は除く)

【組成・性状】

販売名	JPS 真武湯エキス顆粒〔調剤用〕
剤形・色調	顆粒・淡かつ色
におい・味	特異の芳香があり、わずかに苦味がある
含量：本剤 7.5g中	日局 ブクリョウ……5.0g 日局 シャクヤク……3.0g 日局 ソウジュツ……3.0g 日局 ショウキョウ……1.0g 日局 プシ末……1.0g ** 上記の混合生薬より抽出した日局真武湯エキス2.6g を含有する。 添加物…ステアリン酸 Mg、シヨ糖脂肪酸エステル、 乳糖水和物

【包装】

500g 750g(2.5g×300包) 105g(2.5g×42包)

【文献請求先】

ジェーピーエス製薬株式会社 医薬部
〒224-0023 横浜市都筑区東山田4-42-22
TEL (045) 593-2060

【効能・効果】

新陳代謝が沈衰しているものの次の諸症

諸種の熱病、内臓下垂症、胃腸弛緩症、慢性腸炎、慢性腎炎、
じんましん、湿疹、脳出血、脊髄疾患による運動および知覚麻痺

【用法・用量】

通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口
投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

- 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)
(1)体力の充実している患者〔副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。〕
(2)暑がり、のぼせが強く、赤ら顔の患者〔心悸亢進、のぼせ、舌のしびれ、悪心等があらわれるおそれがある。〕
- 重要な基本的注意
(1)本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
(2)他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。プシを含む製剤との併用には、特に注意すること。

3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。

	頻度不明
過敏症 ^{注1)}	発疹、発赤、掻痒、蕁麻疹等
その他	心悸亢進、のぼせ、舌のしびれ、悪心等

注1)このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

5. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与


妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないことが望ましい。〔本剤に含まれるプシ末の副作用があらわれやすくなる。〕

6. 小児等への投与

小児等には慎重に投与すること。〔本剤にはプシ末が含まれている。〕

【取扱い上の注意】

直射日光をさけ、防湿に注意すること。開封後は湿気をさけ、フタをよく閉めて保存すること。

 **ジェーピーエス製薬株式会社**
製造販売元 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台196-1
本社 横浜市都筑区東山田4-42-22